

学校の教育目標 自ら考え、適切な判断を行い、行動する児童生徒の育成
学校経営ビジョン 「応援される人」～つながりから自立へ～

自己評価及び学校関係者評価： A（目標を十分に達成している） B（目標を概ね達成している） C（目標達成の取組や方法に改善の必要あり）

重点目標	目標達成のための手段	取組状況・成果・課題・改善策等	自己評価	評価	学校運営協議会委員コメント
学ぶことの意義の実感	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちが主役の授業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性・必然性のある授業づくり ・ 「真剣・感動・問い・主体」、ICT ・ 白雲3point（自己決定・見通し・教え合い） ○ 授業のUD化～参加・理解・習得～ （スクテ・UDハンドブック） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校内研究では、「個別最適な学び」の実現に向け、各自で研究に励み、授業に還元することができた。 ○ 授業の中で一人一台端末を効果的に活用した。 ○ どの学年においても授業の約束事が確立されており、落ち着いて授業に参加している。 ○ 児童生徒一人一人の特性や状態等に応じて、授業内容や形態を工夫することができた。 ● まだ児童生徒に主体的に学ぶ姿勢が身についておらず、多くの場面で教師主導の授業が行われている。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原籍校では不登校だった生徒もいる中で、少人数の良さを生かして一人一人の実態に合わせて丁寧に指導されている。 ・ 本校の取組が、学力となって表れてはいないが、いい取組が行われている。
一人一人を大切に する教育推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒による規範意識の高揚（生徒会・肯定的な行動支援） ○ 個別支援計画に基づく支援（PBS） （きっかけ→活動→結果） ○ SST、SOSの出し方（こんなときどうする） 重点：情報モラル、感情のコントロール 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業－チャレンジ週間（実践）－振り返りという一連の流れで、年間を通して計画的にSSTの授業を実践することができた。 ○ 情報モラル教室を各学期1回（年間3回）実施することができた。 ○ 児童生徒会活動において、自分たちが課題と感じていることを基に改善策を考え、実践することができた。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ さまざまな問題を抱えている生徒に対して、丁寧に対応されている。 ・ 良い行動をしたときに称賛するタイミングを逃さず、その場で称賛してあげてほしい。
健やかな心身の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学園と連携した健康教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康状態の把握と見届け ・ 生徒主体の健康教育（食・性） ・ 生徒主体の部活動 ○ 志和池中校区一貫教育との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎朝の学校生活と寮生活の互いの報告を通して、児童生徒の細かな状態の変化を把握することができ、指導や支援に活かすことができた。 ○ 志和池中校区3校の校長に本校を視察していただき、理解を深めていただくことができた。 ● 本校は養護教諭不在の状況であるため、今後は他校養護教諭の協力を仰ぐなど、連携を図っていく必要がある。 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の学校に通っている生徒と本校の生徒との差は紙一重だと感じる。 ・ 小さな問題はいろいろあるだろうが、きちんと対応していただいている。 ・ 福祉教育の取組もいい成果が表れている。
コミ・スク推進 関係機関連携	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学校運営協議会を生かした取組推進 (2) 「貢献」を意識した取組推進 (3) 原籍校復学を目指した関係機関等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほほえみの園での毎月1回のボランティア活動や委員からの紹介による外部講師の講話など、新たな取組を実施することができた。 ○ ふれあい祭をはじめ、多くの行事に地域の方々に参観していただくことで、児童生徒に「自分のがんばる姿を地域の方々が楽しみにしている」という思いが芽生えつつある。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな制限がある中ではあるが、地域と積極的に関わっていただいている。 ・ その成果が、子どもたちの成長となって表れている。